

## 新型コロナウイルス感染症陽性者の発生について

令和3年4月19日

令和3年4月15日、当院の職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。これを受け、当該職員が勤務する病棟の職員（44名）及び全入院患者（52名）に対し、コロナウイルス感染の潜伏期間を鑑み、4月17日（当該職員の症状出現後3日目）にコロナウイルス抗原検査を実施いたしました。その結果、全員が陰性であることを確認しております。尚、当該職員と濃厚接触したと思われる職員2名には、4月15日から10日間、自宅において経過観察としています。また、この2名も4月17日コロナウイルス抗原検査で陰性を確認しております。

当院は、これまでも最大限の感染防止対策を講じてきたところですが、今回の陽性者の発生を受け、全職員に対し、感染防止対策の重要性を改めて周知徹底を図るとともに、今後においても、更なる感染防止対策の強化、徹底に努めて参ります。

今回新型コロナウイルス感染が判明した職員の業務範囲は特定の区画に限定されており、現在、入院して療養、治療を行っている患者の皆様方及び外来患者の皆様方には、何ら感染の危険性はないと判断していることから、通常の外來診療・入院診療・救急診療については、従来通り実施することとしておりますので、ご安心ください。

今後の経過等につきましては、随時ホームページでお知らせいたしますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

独立行政法人国立病院機構  
東佐賀病院 院長 北島吉彦